

令和7年度第4回 高砂市地域公共交通活性化協議会 議事録

開催日時：令和8年2月9日（月）14時00分～15時15分

場 所：高砂市役所本庁舎3階301

協議事項：（1）じょうとんバスミニ阿弥陀ルートの運行について

（2）高砂市地域公共交通計画（案）の市民意見公募結果について

出席者：別紙のとおり

1 開 会

〔司会〕

定刻となりましたので、これより「令和7年度第4回高砂市地域公共交通活性化協議会」を開会いたします。

本日は、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。それでは、開会にあたり会長よりご挨拶を申し上げます。

【 会長挨拶 】

〔司会〕

本日の委員の出席状況については、協議会委員16名中、16名の委員が出席されていますので、高砂市地域公共交通活性化協議会規約第8条第2項により、過半数の委員がご出席されますので、本会議が成立したことをご報告申し上げます。なお、出席者につきましては、配席図にてご確認ください。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。

【 配布資料確認 】

2 協議事項

〔司会〕

続きまして、次第の3番目、協議事項です。本市地域公共交通活性化協議会規約第8条第1項の規定によりまして、会長に議長をお願いしたいと存じます。

〔会長〕

協議事項に入る前に、本会議の傍聴希望者の確認をしたいと思います。傍聴希望者はおられますか。

〔司会〕

事前の傍聴申込はありませんでした。

〔会長〕

わかりました。それでは、次第3の協議事項に入ります。協議事項1のじょうとんバスミニについて、本年4月1日から、本格運行に移行することについて、皆さまからご承認いただきたいと思ひます。それでは、事務局より説明をお願いします。

【 事務局説明 】 協議事項 1

〔会長〕

これまでは試験運行であった市ノ池・高御位山観光ルートが、一定の利用が見込めるということで、本格運行に入るというご説明でした。事務局の説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。

運賃体系について事務局から補足の説明をいただけますか。

【 事務局説明 】

〔会長〕

じょうとんバスと同じ運賃体系という認識でよろしいでしょうか。

〔事務局〕

はい、じょうとんバス、じょうとんバスミニともに同じ運賃体系となっております。

〔会長〕

他に何かご意見のある方、いらっしゃいませんか。

特にご意見がなければ、運行名称を新たに、「じょうとんバスミニ阿弥陀ルート」に変更し、今年4月から本格運行することで事務局の方で進めるということでよろしいでしょうか。

なお、運賃については、運賃協議会に一任するというこゝで、本協議会では承認したいと思ひます。

(一同、承認)

〔会長〕

それでは、事務局の方で4月から運行を開始できるように準備をよろしくお願ひいたします。

次に、協議事項2高砂市地域公共交通計画（案）の市民意見公募結果についてです。パブリックコメントの結果を受けて、一部、案を修正しています。本日は、修正版の計画書案について皆さまからご承認を頂きたいと思ひております。

それでは、事務局より説明をお願いします。

【 事務局説明 】 協議事項 2

〔会長〕

市民の皆さまに最終的な計画書案を見ていただいて、ご指摘のあった箇所につきましては、先ほど事務局から抜粋して説明があったとおりです。詳しいご指摘の内容は協議資料2-1と計画書を照らし合わせてご覧ください。ご指摘を受けて、最終的には文言の修正にとどめさせていただきます。本協議会において本計画をご承認いただけましたら、いただいたご意見につきましては、今後、計画に位置付けている施策を推進するに当たり、十分に考慮してまいりたいと考えております。これらは計画書において目標を達成するための実施事業というところに概ね該当するものと認識しております。

本計画書に関して、他に何かご意見のある方、いらっしゃいませんか。この後は、計画書（案）の（案）を取らせていただいて、国の方に提出する流れとなります。

それでは、本日ご提案しました高砂市地域公共交通計画（案）をご承認いただけますでしょうか。

（一同、承認）

〔会長〕

ありがとうございました。事務局におかれましては、計画認定の事務手続きを進めてください。

今まで、委員の皆さまからもご意見をいただき、その内容を反映した計画書となっております。次年度より進めていくということで、言わずもがなこれがスタート地点となります。本計画書に沿って、公共交通が持続可能なものになるように皆さまにご協力をいただきながら、取り組んでいく必要があると思っております。

そこで、この場にいる皆さまに感想も含めまして、一言ずつご意見等を頂いてよろしいでしょうか。

〔委員①〕

1年半という短い期間でしたが、皆さまお疲れ様でございました。まだ最終決定ではないですが、10年間この計画に沿って、公共交通について考えていくこととなります。

計画書に目標値が記載されていますが、この目標値は決して生易しい数値ではないと考えております。「現状維持」との記載がありますが、実際のところは現状維持するのも大変で、なかなか厳しい目標値が設定されたと感じております。目標値には、市民の公共交通利用意向率が設定されており、現在、約3分の2の方が公共交通を使いましょうというご意向をお示しいただいている数値を、現状値以上に上げていくということも大変だと思います。高砂市は、平坦な街ですので、例えば自家用車や自転車を使うところを公共交通に変えていただく、つまり市民の方々の心を変えていくというハードルの高い作業になるかと思えます。

計画を作るという観点では今日で区切りがつくかと思いますが、本腰を入れていくのはこれからですので、絵に描いた餅にならないように、引き続き皆さまご協力のほど、よろしく願いたします。

〔会長〕

ありがとうございます。続いて、お願いいたします。

〔委員②〕

パブコメに対する回答にもありましたように、今後検討していくということも進めながら、内容の精査等に取り組む必要があるかと考えております。

直接計画とは関係ないですが、私は普段は公用車を利用するため、じょうとんバスに乗る機会がなかなかありませんが、先日じょうとんバスに乗せていただきました。お子さまの声で停留所を知らせる車内アナウンスをする取組みは、みんなで利用しようという気持ちが伝わり良いと感じました。以上です。

〔会長〕

ありがとうございます。計画書に事業の記載がありますが、先ほどご紹介いただいた部分も含め、細かい部分はこれから皆さまのご意見を聞きながら進めていきたいと考えております。

また、こちら先ほど指摘がありましたように、目標設定もハードルが高いということで、頑張っってやっていかなければいけないと感じております。

〔委員③〕

本計画についてこれからさまざまなことを検討していくということなので、兵庫県といたしましても、取組みに対して財政的支援も含めて相談させていただきながら進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

〔会長〕

ありがとうございます。

〔委員④〕

これからも高齢化が進んでいくと思いますので、免許を返納しても公共交通があれば生活に不自由がなく、安心して免許を返納できるというようになれば良いと思っております。

また、色んな事故も起こっていますので先ほどのお話にもありました、じょうとんバス車内のお子様のアナウンスで「ヘルメットをかぶってください」等、交通事故防止のアナウンスを流してもらう機会があれば良いなと思いました。

〔会長〕

ありがとうございます。交通事故が減少すれば、安心して公共交通へシフトしていただけると思います。

〔委員⑤〕

協議会資料について、細かく分かりやすくまとめていただき、非常に見やすい資料で感謝しております。

高砂市は若年層が減り、高齢者が増えることで買い物難民という言葉をよく聞きます。その中

で、じょうとんバスの新ルートや新技術の活用などすることで、高齢者の足になり得ると思います。さまざまな課題もあると思いますが、改善しながらさらに発展していけば良いと思います。ありがとうございました。

〔会長〕

ありがとうございます。

〔委員⑥〕

この計画がどうという話ではないですが、せつかくの機会ですので、弊社の状況等をご紹介させていただければと思います。人手不足はバスやタクシーに限った話ではなく、鉄道業界でも生産年齢人口の減少により、労働環境面で苦慮している状況でございます。一方で、近年は人口減少の時代となり利用者数も減少傾向を辿っておりますので、私共もさまざまな経営努力が必要と考えております。

例えば、以前は新幹線の切符は窓口で購入するのが主流でしたが、最近は窓口配置する人員も不足しておりますので、スマホで事前に購入していただき、駅では発券だけをしていただくような形をとっております。窓口には並ばずに乗車券を購入していただいたり、運行情報についても、お客様ご自身でスマホ等にてご確認いただいたりすることで、車椅子の方の介助等、人でないといけないところに人員配置していくというように、限られた人員でサービスを提供する努力を続けているところです。また、運行ダイヤについてもお客様が非常に多いところはしっかり便数を確保しつつ、需要の状況に応じて見直しております。

昨今では、特に朝夕の通勤の時間帯に着座による移動を希望される方もいるということで、有料による着座サービスの車両を設ける等、多様化するニーズにも対応するような施策も打ちながら、サービス向上にも努めています。高砂市に限った話ではございませんが、より多くの方にご利用いただけるように努力を重ねて参ります。この場を借りてお伝えさせていただきました。今後ともよろしく願いいたします。

〔会長〕

ありがとうございました。鉄道というのは非常に大きな区間での移動、大阪方面あるいは、姫路方面への移動という大切な役割を担っていただいておりますので、今後とも連携して利用者の方々の利便性向上を図っていただければと思っております。

〔委員⑦〕

弊社としても全体的に利用者数は減少傾向です。昭和47年くらいがピークで50年にわたり減少しているという状況です。しかし、10年前から底を打ったような形で、コロナという特殊な事情もありましたが、全体的には微増傾向となっております。

一方で、高砂市を含め一部地域では、利用者が減っているように見受けられます。高砂市在住の社員も多くおり、よく話を聞きますが、高砂市や加古川市では公共交通ではなく、自動車に頼る割合が特に多いように思います。そのような状況を変えていかないと、地域として生きていけないように感じます。これからより良いものを作っていくということで、こういった公共交通計画をしっかりと作っていただき、できるだけ公共交通を使うという意識付けの機会に、我々も

含めて協力していければ良いと思いました。

〔会長〕

ありがとうございました。ぜひそのように協力しながら進めさせていただければと思います。

〔委員⑧〕

本計画の策定を通じて多様な関係者の方と意見交換する中で、地域の抱える問題や将来のイメージ像について議論ができたことは、私の中でも有意義でした。本計画が完成したということで、これからがスタートですし、私は通勤で山陽電車を使っていますが、JRの駅への移動が不便だと感じる場面がありますので、その辺りが便利になるように協力して、実現に向かっていけばより良くなるかなと思っております。また、お酒を飲む場合は車を使えないため、公共交通が便利になることで、もっと高砂市が活性化していくことにもつながるのかなと思いました。

〔会長〕

ありがとうございました。市民の皆さまからの意見というのは非常に大切です。ただ、意見が届きにくいところも当然ありますので、ぜひ周囲の方の意見含めて、PDCAにもありましたように、協議会で状況報告しながら改善をしていくということになるかと思えます。協議会に限らず、市の方にもご意見を言っていただき、また公共交通を利用していただけたらと思います。

〔委員⑨〕

私は一般の主婦でして、このような協議会に初めて参加したことで公共交通の活性化のためにさまざまな関係者の方が意見交換をされているのだと改めて実感しました。また、地域性を踏まえて、地域の将来像等をこんなにも考えられているのだと思いました。これからがスタートということで、さまざまなことを実現していただければと思います。

〔会長〕

ありがとうございました。市民の皆さまに計画書の策定や市が取り組んでいることはなかなか伝わりづらい部分もありますので、ぜひ周囲の方にさまざまな関係者の方が意見交換をされているということを伝えていただければと思います。一方で、感じられたご意見等も言っていただければと思います。

〔委員⑩〕

高齢者の方、子どもの移動の関係で、計画書の56ページにある事業5「横断的な取り組み」について、福祉分野・教育分野との連携に関する取り組みが実現すればいいと感じております。また、高齢者の移動に関しては、このように皆さまで考えた公共交通を利用できるようにしていければと思います。特にタクシー業界さんは人材不足等の問題もあり、大変お困りの部分もあると思いますが、一緒に移動支援について考えていけたらと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

それから、じょうとんバスの阿弥陀地区での運行に関しても市の方が色々と考えられて、じょうとんバスミニという形で運行されるということで、これが一歩となるのかと思いました。

また、高砂市では自動車での移動が多く、公共交通をなかなか使っていないというお話をされていましたが、私は自動車も鉄道も使う地域にいます。鉄道は定刻運行という面で安心して利用できると感じているので、利用していきたいので、無くなってほしくないと思います。今後ともよろしく願いいたします。

〔会長〕

ありがとうございました。福祉の目線で移動支援をされることは、他の交通手段とも上手く連携していく必要があると思います。また色々ご意見いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

〔委員⑪〕

公共交通計画に関わらせていただいて、策定にあたり各方面の声を拾い上げてさまざまな意見を集約して作っていただいたのだということが伝わってきております。委員として在籍している中で、私の考え方も変わりました。私は会社を経営しており、現在、7名ほどの育成に投資しております。普通も大型も含めた2種免許取得を目指す方が少しずつ増えてきましたので、ドライバー不足という点に対しては、少し改善できたと感じております。今までタクシー専門のドライバーしかいなかったのですが、私の会社では乗り合いという、コミュニティバス、貸切りバス、一般タクシーの3つの分野があるのですが、その全てを運転できるドライバーを増やしております。というのも、ドライバーの高齢化が進むと長期離脱が起きやすい環境になり、その穴を埋める3、4分野のドライバーを担うことができる人を増やすという方針のもと、会社を作り変えていっている最中です。これを継続することで人手不足を解消できると思いますので、公共交通を担う会社として頑張っていきたいと思っている所存でございます。よろしく願いいたします。

〔会長〕

ありがとうございました。タクシー業界さんは人手不足の問題等、大変な状況にあると思いますが、計画書の評価指標の中でタクシーの利用者数を出していただいて、現状値以上というのはなかなか大変なのではないかと考えております。デマンド型を含めて、タクシーを色んな形で利用するということも記載しておりますが、数値として上げていく必要がありますので、市民の皆さまの大切な足をカバーするためにその辺りの検討も進めていただければと思っております。よろしく願いいたします。

〔委員⑫〕

公共交通に携わるさまざまな方のご意見を踏まえ、公共交通により皆さまの移動手段を守っていくため、労働組合の立場から、働く側の雇用や労働条件について適切に確認・点検する役割を果たしてまいりたいと考えております。

先ほどもお話があったように、乗務員不足の中でも仕事量が決まっている状況で、母数が減ってしまうと残っている乗務員の方に負担がかかることが1番の問題であって、それが行き過ぎてしまうと、法律を違反するような実態も起こってきます。そうになると、身体を壊してしまって仕事ができなくなるということがありますので、そこをしっかりと見極められるように、今後も機会があれば助言させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

〔会長〕

ありがとうございました。労働環境がしっかりしていないとなかなか運転手になろうという方が増えてこないと思います。

〔委員⑬〕

目標値についてかなり頑張らないといけない数値であること、重々承知しております。事業4の「利用を促す普及活動と制度の導入」、事業5の「横断的な取り組みの推進」については、人口が10年後には7万5千人ほどに減少する分、今以上に頑張っていないと実感しております。

市民の方が利用しやすいような環境を提供することについて、障害をお持ちの方に対しては安全にバスを利用していただけるようにそれぞれのお客様の状況に応じて、可能な範囲で対応させていただいております。ハード面では、既にノンステップバスやスロープ板を付けることで対策しており、ソフト面では、乗降の際に運転手の方からの声かけや、車椅子の扱い方を定期的に研修しております。また、降車が心配なお客様については、運転手の方から「どちらまで行かれますか？」等と降車する停留所をお聞きしながら、目的地まできっちりお送りするといった、ソフト面での対策を普段から実施できるようにしておりますので、継続していきたいと思っております。

また、人口が減っていく中で、田舎の方では外国人の方が乗ってきている地域もあると聞いております。高砂市のじょうとんバスは外国人の方のご利用はあまり聞きませんが、今後はどのような方でも乗れるような移動環境を整備していくことも必要と考えますので、可能な範囲で目標達成に向けて頑張っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

〔会長〕

ありがとうございました。バス事業者さんとも色んな形で連携していく必要があると思えます。先ほどの阿弥陀地区のじょうとんバスミニの運行に関しても、神姫バスの路線がございしますが、お客様を奪い合うのではなくお互いに利用者が増えるようにサービスを高めていくことがとても大切だと思います。利用しやすい環境については、さまざまな形で市民の皆さまに情報が届きやすいようにしていく必要があります、これも連携が必要と思えます。

〔委員⑭〕

まずは、阿弥陀地区のじょうとんバスミニの本格運行についてお礼申し上げます。また、資料についても非常に丁寧に作っていただいたと思っております。今後は、それぞれの取り組みをしっかりと実行していく必要があります。その中で、考えていただきたいことは、住民のニーズの分析も必要ではないと思えます。人口減少の中で、人口の年齢構成に応じてどうするか等、バスの便について、通勤・通学、通院、買物等、どの目的の便なのか、時間設定もきめ細かな検討をしていただきたいと考えています。またバスに乗れない人はどうするのか、我々住民からすれば、安心して暮らせる手段の一つが公共交通だと思います。高砂市の中でも連携していただいて、足が悪い人への対応をどうするのか等の検討も進めていただきたいと思えます。

高齢者も元気な方が多いですが、あと5、6年すると公共交通がもっと必要になります。きめ

細かな住民のニーズの分析の結果、住民が安心して高砂市もいい街だと思って暮らせるようになれば良いなと思っております。そうすれば、若い人も増えて人口減少等の問題も改善できるようにつながっていくのではと思いますので、よろしく願いいたします。

〔会長〕

ありがとうございました。この計画でスタート地点に立ったというわけで、進捗については今後も協議会で報告し、ご意見をいただきながら進めていければと考えております。少しでも利用者が増えて、目標値を達成できるように頑張っていきたいと思っております。

計画の内容としては了承いただいたということで、協議事項については、以上とさせていただきます。ありがとうございました。

3 その他

〔会長〕

それでは、次第の4番目、「その他」です。事務局から報告事項があるようです。前回の活性化協議会でも現況報告がありましたが、交通不便地である牛谷地区において、新たなじょうとんバスミニ路線の試験運行を検討するものです。

それでは、事務局から説明をお願いします。

【 事務局説明 】 その他

〔会長〕

事務局の説明について、ご意見・ご質問等はありませんか。

阿弥陀地区については本格運行、牛谷地区は試験運行についてです。試験運行については、来年度予算が確定した時点で、この協議会でお諮りするということでしょうか。

〔事務局〕

今年3月の市議会で予算を要求しております。市議会で承認を得ることができれば、協議会でお諮りをした上で最終的に決定することとなります。

〔委員①〕

次回協議会時に、ダイヤ等具体的な運行について正式にご提案されると思いますので、引き続き議論のほどよろしく願いいたします。試験運行は半年間ということで、利用実績等のデータを収集することは大変かと思いますが、目標値等の細かい事項のご提示は次回協議会にてお願いしたいと思います。

〔事務局〕

現時点で半年間とさせていただいているのですが、市の予算が単年度となっており、毎年3月末で一旦締まるということも関係しております。そこで事務局の中での案なのですが、一定期間運行しないと必要なデータは取れないということで、半年間から延ばした形で運行したいと考えております。

〔会長〕

本格運行へ向けては3年間ほどのデータが必要となると思います。乗車人数の状況も含めて考える必要があり、もっと乗っていただかないといけない状況や他の方法を取らないといけない状況等をこの協議会で報告していただき、ご意見をいただければと考えております。

現時点でお気づきの点等ございませんでしょうか。

それでは、副会長より補足説明をお願いいたします。

〔副会長〕

牛谷地区の試験運行についてですが、地域密着型で地元の機運が上昇していたこともあり、検討を進めてまいりました。社会福祉協議会を通じて、民生委員の方と連携してアンケートを実施し、地元のニーズを把握できたと考えております。

また、移動スーパーについては昨年11月から運行しており、牛谷地区は毎週木曜日に運行しています。じょうとんバスミニで運行を行う火曜日と金曜日はバスに乗り付けて付近のスーパーへ買い物や病院へ行っていただき、木曜日は移動スーパーを利用していただくという形を取っております。移動スーパーの停車地はバスの停留所と同じですので、ご利用される場合は停留所へ来ていただき、高齢者の方々の外出機会を増やしていければと思います。現在、北浜町については、牛谷地区を含め、6箇所移動スーパーを運行していただいておりますが、だいたい1日平均30名程度の利用がございます。牛谷地区の事例を見ながら、他の地域でも取り組んでいきたいと考えております。以上、補足での説明でした。

〔会長〕

ありがとうございました。高齢者も増えておりますが、交通弱者と言われる方が増えてきています。一方で通勤等においても公共交通を使う方が増えれば良いと思います。

他、いかがでしょうか。ご質問等がないようですので、本日予定しておりました議事が全て終わりましたので、司会を事務局へお返しします。

【 副会長挨拶 】

4 閉会

〔司会〕

ありがとうございました。委員の皆さまにおかれましては、熱心なご審議を賜り、誠にありがとうございました。地域公共交通計画の計画認定に向け、事務を進めてまいります。委員の皆さまにおかれましては、引き続き計画の推進に、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日の会議の議事要旨につきましては、概要をとりまとめ、後日、市ホームページにて公表させていただきます。

なお、次回の活性化協議会は令和8年5月頃を予定しておりますので、また後日、ご連絡させていただきます。

ここで、事務局から皆さまにお願いとご連絡があるのですが、本協議会委員任期の2年が、今年の3月末で満了を迎えます。つきましては、事務局としては4月1日付で再委任をお願いした

いと考えておりますが、人事異動等で変更がある場合もあるかと思われますので、事務局から個別にご連絡させていただきたいと思っております。引き続き、委員をお受けいただける方については、委嘱状を次回の活性化協議会にて配付させていただく予定です。

最後に、このあと阿弥陀ルートにおきまして、運賃協議会を開催したいと存じます。お忙しい中、申し訳ございませんが、運賃協議会の委員である方は引き続き残っていただきますよう、お願いします。

それでは以上をもちまして、令和7年度第4回地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。皆さま、本日はありがとうございました。

以上

令和7年度第4回高砂市地域公共交通活性化協議会 出席者

	委員名	団体名	役職等	出欠
1	福島 徹	兵庫県立大学	名誉教授	出席
2	井上 陽介	高砂市	都市創造部長	出席
3	鈴木 茂伸	東播磨県民局 加古川土木事務所	所長補佐 (企画調整担当)	出席
4	木原 健太	神戸運輸管理部 兵庫陸運部	主席運輸企画専門官	出席
5	山田 和弘	高砂警察署	交通課長	出席
6	松本 克英	高砂市連合自治会	会長	出席
7	中野 直子	高砂市社会福祉協議会	参事兼事務局次長	出席
8	後藤 純次	高砂商工会議所	副会頭	出席
9	浅田 暢	(一社)兵庫県タクシー協会 東播支部	幹事	出席
10	秋元 勇人	西日本旅客鉄道(株) 兵庫支社	副支社長	出席
11	水谷 大輔	山陽電気鉄道(株)	執行役員 鉄道事業本部 企画部担当兼企画部長	出席
12	小玉 嗣人	兵庫県 交通政策課	副課長兼地域交通班長	代理 出席
13	竹内 宏	神姫バス(株)	バス事業部次長	出席
14	阿南 文彦	神姫バス労働組合	教宣部長	出席
15	名嶋 美幸	市民代表		出席
16	富川 真知子	市民代表		出席